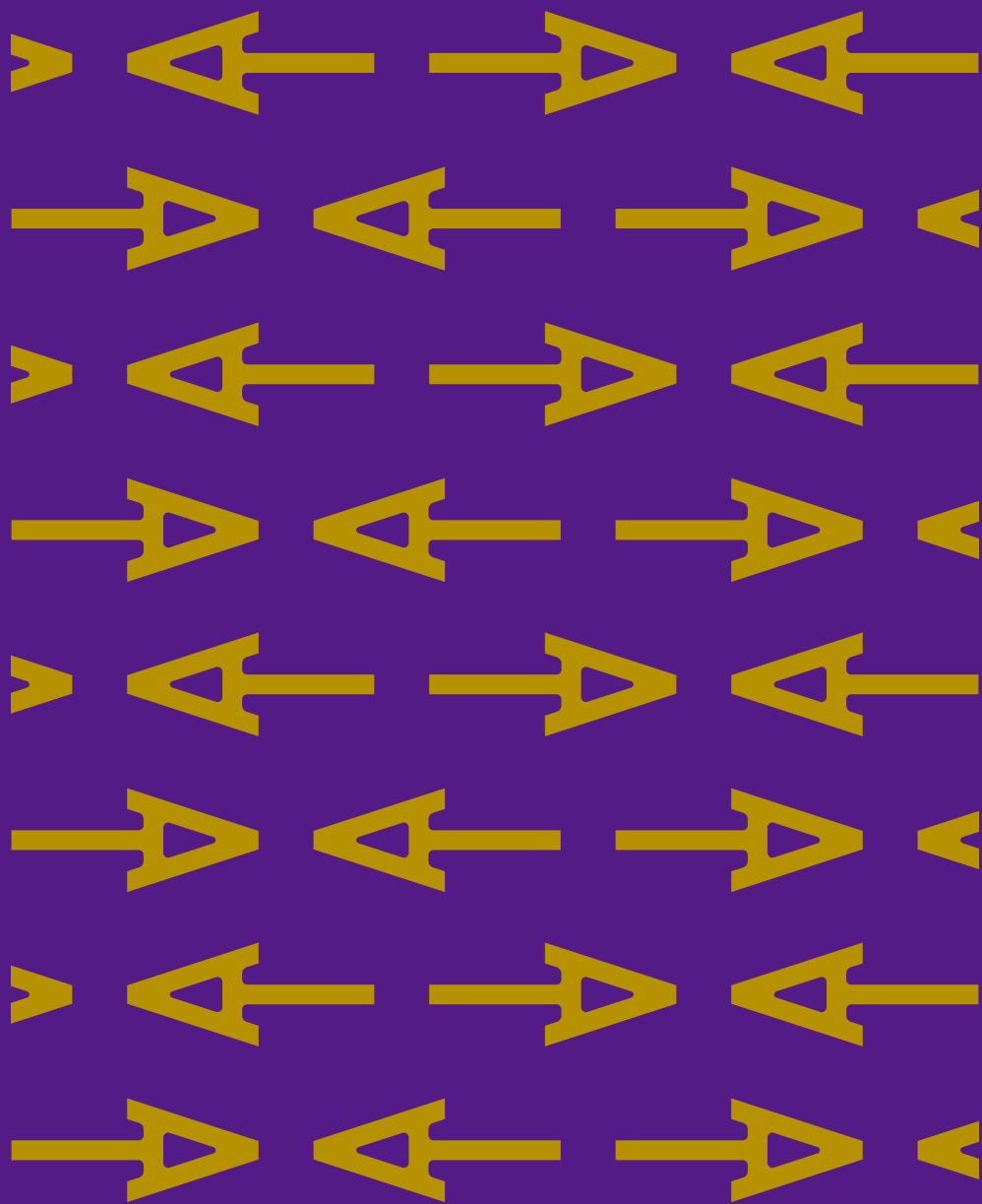


# あいちトリエンナーレ2019シンポジウム 「日本の現代美術と芸術祭」

津田大介

あいちトリエンナーレ2019 芸術監督  
TSUDA Daisuke



松岡正剛

編集工学研究所長・イシス編集学校校長  
MATSUOKA Seigow

2018年1月21日[日] 14:45-16:30 会場 | 愛知県図書館

参加費 | 無料(申込不要) 定員 | 180名 主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会 協力 | 愛知県図書館  
当日は、開始時刻の1時間前から受付・整理券の配布を行い、開場します。なお、受付・整理券の配布は先着順で行い、定員に達した場合は、入場をお断りすることがございます。

あいちトリエンナーレ2019  
AICHI TRIENNALE 2019: Taming Y/Our Passion

情の時代

あいちトリエンナーレ2019/AICHI TRIENNALE 2019 〈芸術監督〉津田大介 〈会期〉2019年夏から秋(予定) 〈テーマ〉情の時代 Taming Y/Our Passion

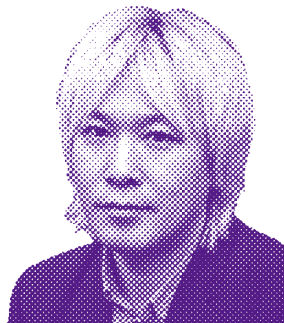
# あいちトリエンナーレ2019シンポジウム 「日本の現代美術と芸術祭」

「あいちトリエンナーレ」は、4回目となる2019年の開催に向けた準備が進んでいます。芸術監督にはジャーナリスト／メディア・アクティビストの津田大介氏が就任し、「情の時代 Taming Y/Our Passion」というテーマが発表されました。そのコンセプトには、「現代社会の問題—『情報』によって『感情』が支配・管理されている—に対して、アート本来の力で対抗していく」ということが記されています。「あいちトリエンナーレ2019」に向けたシンポジウムでは、アートのみならず日本文化、生命哲学、システム工学までを幅広く語る松岡正剛氏をゲストに迎え、アート本来の力がどのようなものなのかを古今東西のアートや文学などに探りながら、これからのトリエンナーレの可能性について対談します。

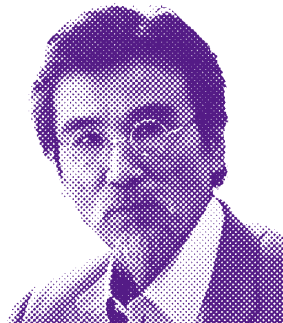
## 津田大介

TSUDA  
Daisuke

あいちトリエンナーレ2019  
芸術監督



1973年東京都生まれ。インターネットメディア「ポリタス」編集長。一般社団法人インターネットユーザー協会(MIAU)代表理事。早稲田大学文学学術院教授。早稲田大学社会科学部卒業。2003年から、ジャーナリスト活動を開始。メディア、ジャーナリズム、IT・ネットサービス、コンテンツビジネス、著作権問題などを専門分野に執筆活動を行う。主な著書に「ウェブで政治を動かす!」(朝日新聞出版)、「動員の革命」(中央公論新社)ほか。近著は「『ポスト真実』の時代」(日比嘉高との共著・祥伝社)。



MATSUOKA  
Seigow  
編集工学研究所所長・  
イシス編集学校校長

1944年京都府生まれ。編集工学研究所所長・イシス編集学校校長。1987年、編集工学研究所を設立し、様々な研究成果を情報文化技術に応用・発展させる活動をリード。2000年、ネット上に壮大なブックナビゲーション「千夜千冊」の連載を開始。同年、eラーニングの先駆けともなる「イシス編集学校」を創立。近年は、編集的世界観にもとづく書店空間「松丸本舗」など、本を媒介にした実験的プロジェクトを展開。また、「日本という方法」を提唱し、文化創発の場として精力的に私塾を主宰。主な著書に「松岡正剛千夜千冊」(求龍堂)ほか。近著は「擬 MODOKI」(春秋社)。

## 松岡正剛

## 会場 | 愛知県図書館5階大会議室

名古屋市中区三の丸1-9-3

### 〈アクセス〉

- 地下鉄鶴舞線又は桜通線「丸の内」駅下車、8番出口より北へ徒歩約5分
- 名古屋市営バス幹名駅1系統・名駅14系統「愛知県図書館」下車、北へ徒歩約3分

### 〈問合せ先〉

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター6階

TEL: 052-971-6127 FAX: 052-971-6115

<http://aichitriennale.jp>

